

1,300人が 脱原発誓う

柏崎市で 「なくそテ原発2016大集会」

3日、原発の膝元柏崎市で、「なくそテ原発2016柏崎大集会」が開かれ、県内外から1300人が参加しました。

講演に立った“脱原発をめざす首長会議”世話人の三上元氏（静岡県湖西市市長）は、「原発立地県からの発信－脱原発8つの理由」と題して、人間には原発事故につながるミスがあること、原発の安全対策はテロなどを想定していないこと、日本は地震大国・津波大国であること、そして原発は膨大なコストがかかることなどをあげて、どうしても脱原発が必要であると、ユーモアを交えて、わかりやすく説明しました。

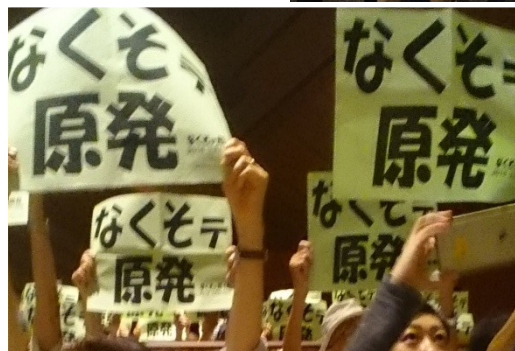
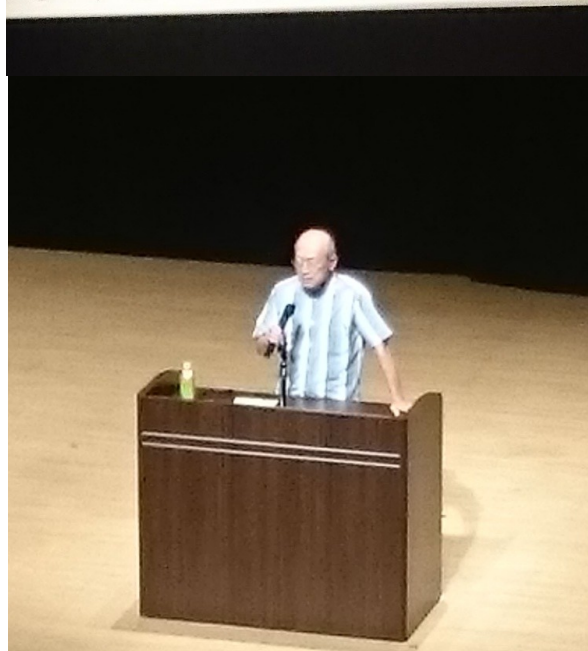
おなじみのアイドルグループ

“制服向上委員会”も脱原発をめざす歌を披露し、会場を盛り上げました。

最後に、「10月には新潟県知事選、11月には柏崎市長選があります。県知事選では争点隠しを許さず原発問題を最大の争点することが重要です。柏崎市長選では再稼働反対の市長を誕生させることが重要です。本集会の成功を力に再稼働反対への賛同・支持を国民、県民、市民に広げていきましょう」という集会宣言を採択しました。

参加者はその後、柏崎市内をパレードし、すべての市民に届くよう、声を合わせて「再稼働反対、今こそ脱原発を」と訴えました。

なくそテ原発2016柏崎大集会



さらに、財政難のもとでの多額の購入費の支出が妥当なのかなど、まだまだ議論の余地があります。

国宝の刀剣は “購入ありき”？ 上野議員が総括質疑



1日から始まった9月定例市議会には、昨年度の各会計の決算のほか、国宝の刀剣の購入準備に係る補正予算などが提案されています。上野議員は2日、党議員団を代表して、市長の提案に関する質疑を行いました。上野議員は、まず交付税削減問題に触れ、「財政状況が厳しいと繰り返す一方で、大型

建設事業への投資姿勢が顕著だ。歳出構造の改善についてはどのように取り組んできたのか」とたどりました。これに対して市長は、「公約に掲げ、新しく造るものは産業厚生会館だけ、水族博物館やクリーンセンターはなくてはならないもの。次は斎場だが、次世代に負担をかけないために今建設が必要だ」と応えるのみで、建設費が大きく高騰したことや、その他の大型施設の建設計画には触れませんでした。上野議員はまた、国宝の刀剣について、「購入しかないのか、また、買うと決めたのか」とたどりました。これに対して当局は、「これ

から市民の皆さんの意見を聞いて、正式に決める」「現在は岡山県に寄託されているが、寄託だと所有者の意思が優先される。また、所有者は、ゆかりの地に譲渡したいという意向である。市は契約はしていないが、所有者から文化庁に対して、売渡し申出書が提出されている」と答えました。しかし、文化庁への提出書式を見ると、誰にいくらで売るといかなど、一定の合意がないと記載できない項目もあります。また、「これから市民意見を聞いて決める」としながら、教育委員会はすでに8月19日に取得に向けて取り組むことを決定しています。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 514 2016年9月11日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)